

土地利用に関する市民意見募集の結果公表について

今後 10 年間の砂川市の土地利用の基本的な考え方を見直しにあたり、ご意見を募集した結果、9 名の方から 14 件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見の概要と、ご意見に対する市の考え方を公表します。

貴重なご意見ありがとうございました。

なお、土地利用に関するご意見内容以外については公表いたしません。

〈ご意見の募集結果〉

◇案件名

砂川市の土地利用の基本的な考え方を見直しへの意見募集について

◇募集期間

平成 23 年 7 月 15 日から平成 23 年 7 月 29 日まで

◇募集結果

意見提出者数 9 名

意見件数 14 件

「砂川市の土地利用の基本的な考え方」に関わる意見の概要と市の考え方

	意見等の内容	市の考え方
住宅 地域	別荘地としての利用。冬休みや夏休みなどに家族で滞在し、自然やスポーツ、レクリエーション等を楽しめる場とする。	ご意見の主旨を受けとめ、ご提案いただきました具体的な内容については、施策を検討していく中で参考とさせていただきたいと考えております。
	廃校になっている砂川北高、豊沼中学校などの建物があるので、工場（生産）倉庫などに利用してはどうか。集合住宅でも良いと思うが、廃校のままにしておくのか。	両地域は住居系地域となっており、周辺環境を配慮すると、工場などが建てられる用途に変更する考えはございません。また、建物を含めた跡地利用については、ご意見の主旨を受けとめ、参考とさせていただきたいと考えております。
商業 地域	子供や高齢者を含め、誰もが集える憩いの場。プールやスパ-銭湯、レストランがあり、そこに来れば一日楽しめるような施設。	ご意見の主旨を受けとめ、ご提案いただきました具体的な内容については、施策を検討していく中で参考とさせていただきたいと考えております。
工業 地域	大前提として、自然や緑が多いこの環境を壊すことがないように。	ご意見のとおり、自然環境は本市の貴重な資源として認識しており、周辺の自然環境に配慮した地域として考えております。

	意見等の内容	市の考え方
農業 地域	農業人口は自然に少なくなり、10年後には荒れた農地が増えるのではないかと思う。	人口減少などの社会的環境変化により、農業者人口も減少しておりますが、地域の担い手への農地の集積、農業生産法人や新規就農者などの利用促進を図っていきたいと考えております。
	家庭菜園への提供、子供達への農業体験。果物狩り等ができると、他市町村から人も入ってくると思う。	ご意見の主旨を受けとめ、具体的な関係施策に活かしていきたいと考えております。
森林 地域	森林は開発せず、今のまま大切にしていけるのが良いと思う。	ご意見のとおり、森林地域における乱開発の未然防止などに努め、自然環境の保全を図ることを基本と考えております。また、大規模な開発などについては各個別法によりある程度規制できると考えております。
	市民にとっても大切で重要な森林。何か良い方法で守り続けてください。緑のない街の景観は荒虚な感じがします。	
森林 地域	森林環境保全は、地球温暖化防止のためのCO2削減、生物多様性の保存の基本であります。地域の森林関連者連携により間伐促進、木質バイマス等の研究利用を進めるべきと思います。	ご意見の主旨を受けとめ、ご提案いただきました具体的な内容については、施策を検討していく中で参考とさせていただきたいと考えております。
	J-VER(オフレットクレジット) ^{※1} の活用により、市民の財産の森林を市民の協働の力で守り活用することが砂川市を守ることになると考えます。砂川市独自のプロジェクトを考えだし、砂川市版J-VERを考案して、街の起爆剤にすることを望みます。	ご意見の主旨を受けとめ、施策を検討していく中で参考とさせていただきたいと考えております。

	意見等の内容	市の考え方
その他	私たちの砂川市にも再生可能エネルギーを考えると、環境と素材を砂川市は持ち合わせております。自分達の住む砂川市が、持続可能であるためには、官民一緒になって、地域にある資源を生かし、足元から、行動することにより、コミュニティのある、コンパクトづくりが可能と考えます。今、大都会で試験実行されてますITを使ったスマートグリッド ^{※注2} も近い将来砂川市も可能なことと思います。	ご意見の主旨を受けとめ、ご提案いただきました具体的な内容については、施策を検討していく中で参考とさせていただきたいと考えております。
	各町内会に雪捨て場をいくつか設けていただければ助かります。公共住宅跡地、空き地（市）、雪捨て場にさせていただきたく思います。	
	新しい砂川市の総合計画に沿って、17,000人で将来的に持続可能であるかを、地元を根をさす大企業、またはその他の有力企業そして地元出身の学識経験者のノウハウの力を借り、各業界と市民、行政と連携して地域の土地の活用を考えることが大切と思います。	ご意見のとおり、市民と行政との連携は重要であると考えており、計画の見直しにあたり、各分野の代表者による土地利用協議会を設置し協議をおこなっております。
	人口は10年後には15,000人より少なくなる可能性が生じる。結婚していない独身者は都会に出て行き、子供は少なくなり、高齢者も年々減少する。大正、昭和の時代より10年後には悪くなるかもしれない。	人口減少や少子高齢化は、本市においても進行する推計が出ております。このような社会的環境の変化を踏まえながら、土地利用を正しい方向へ導く計画としていきたいと考えております。

※注1 J-V E R(オフセットクレジット)とは、個人や企業が排出するCO2などの量のうち、削減が難しい分をほかの場所で削減したCO2と相殺(オフセット)する認証された排出量のこと。

※注2 スマートグリッドとは、発電所や送電網にとどまらず、家庭や工場などの電力消費地とを光ファイバーなどのネットワークで結び、最新の電力技術とIT技術を駆使して、効率良く電気を供給すること。